



防衛省・自衛隊による 能力構築支援

Japan's Defense Capacity Building Assistance



能力構築支援について

能力構築支援とは

能力構築支援とは、自国が有する能力を活用し、他国の能力の構築を支援することを言います。特に安全保障・防衛分野においては、防衛省・自衛隊は自らが有する能力を活用して他国の軍・軍関係機関に対して支援を行っています。

取組の背景

我が国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増しており、もはやどの国も一国で自国の平和と安定を維持することはできず、国際社会が一致して国際的な課題解決に取り組むことが不可欠となっています。

特に、人道支援・災害救援、海洋安全保障、国連平和維持活動などの安全保障・防衛関連分野において、能力構築支援の重要性は高まっており、東南アジア諸国をはじめとする各国の防衛当局からは、防衛省に対し、国際会議や二国間会議などの様々な機会を捉え、自国の能力構築への支援要請や協力への期待が寄せられています。

能力構築支援の政策上の位置付け

上記のような背景を踏まえ、我が国は安全保障・防衛分野における能力構築支援を以下のとおり政策上重要な取組として位置づけています。

国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画における記述

● 国家安全保障戦略〔抜粋〕

— ODAや能力構築支援の更なる戦略的活用やNGOとの連携を含め、安全保障関連分野でのシームレスな支援を実施するため、これまでのスキームでは十分対応できない機関への支援も実施できる体制を整備する。

● 平成26年度以降に係る防衛計画の大綱〔抜粋〕

— 能力構築支援は、今後の安全保障環境の安定化及び二国間の防衛協力強化に有効な取組であることから、ODAを含む外交政策との調整を十分に図りつつ、共同訓練・演習、国際平和協力活動等と連携しながら推進する。また、積極的に能力構築支援を実施している関係国との連携を強化しつつ、能力構築支援の対象国及び支援内容を拡充していく。

— 自衛隊の能力を活用し、平素から継続的に人材育成や技術支援等を通じて途上国自身の能力を向上させることにより、主としてアジア太平洋地域における安定を積極的・能動的に創出し、安全保障環境の改善を図る。

● 中期防衛力整備計画（平成26年度～平成30年度）〔抜粋〕

— 自衛隊がこれまでに蓄積してきた能力を有効に活用することにより、人道支援・災害救援、地雷・不発弾処理、防衛医学等の分野における支援対象国の軍等の能力を強化し、安全保障環境の安定化を図るとともに、支援対象国の防衛当局との関係強化を推進する。また、能力構築支援を積極的に実施する米国、豪州等と連携するとともに、政府開発援助（ODA）を始めとする外交政策との調整を十分に図りつつ、効果的かつ効率的な能力構築支援の実施に努める。

防衛省・自衛隊による能力構築支援の取組

このような方針・考え方の下、防衛省・自衛隊は、自らが有する能力を活用して他国のニーズに応えるべく、次のような形で、能力構築支援に積極的に取り組んでいます。

1. 対象 他国の軍又は軍関係機関
2. 分野 人道支援・災害救援、防衛医学、海洋安全保障、国連平和維持活動 等
3. 形態
 - ・ 自衛官等を一定期間派遣しての教育訓練
 - ・ 自衛官等を派遣しての短期間のセミナー
 - ・ 防衛省・自衛隊関連部隊・機関等への研修員受け入れ 等
4. 趣旨・目的 以下を通じて、国際安全保障環境の安定化・改善を図り、ひいてはわが国の安全の確保を図る。
 - ① 支援対象国が自ら国際安全保障環境の安定化・改善に貢献すること
 - ② 支援対象国との関係強化
 - ③ 米国や豪州をはじめとする他の支援国との関係強化
 - ④ 国際社会におけるわが国の信頼性の向上

防衛省・自衛隊は、地域全体の安定のため、関係国の能力構築を支援しています。

概観



各国への能力構築支援について(分野別)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
東ティモール		人道支援・災害救援		施設
カンボジア		施設		
ベトナム	潜水医学		潜水医学	
		飛行安全	飛行安全	飛行安全
		人道支援・災害救援	国際航空法	航空医学
	PKO			PKO
インドネシア	海洋安全保障		国際航空法	海洋安全保障
モンゴル		衛生		施設
ミャンマー			潜水医学	
			人道支援・災害救援	
			航空気象	
パプアニューギニア			人道支援・災害救援	軍楽
フィリピン			人道支援・災害救援	
マレーシア				国際航空法
ラオス				人道支援・災害救援
その他(複数国向け)				人道支援・災害救援

(注) の事業は我が国単独事業 の事業は他の支援国との連携により実施した事業

主な事業の紹介



東ティモールに対する人道支援・災害救援分野での支援

人道支援・災害救援分野の能力向上に資する装備品の維持・整備技術に関する人材育成

東ティモールは、平成14年に独立したアジアで最も新しい国です。我が国は国際平和協力業務として東ティモールの独立以降、国連東ティモール暫定行政機構・国連東ティモール支援団や国連東ティモール統合ミッションを通じて、東ティモールの安定に深く関わってきました。独立後に創設された東ティモール軍は歴史が浅く、人材・能力・技術が不足しています。また、東ティモールは公共インフラ整備が遅れていることに加え、山岳地帯も多いことから、河川の氾濫などの自然災害が多発するなど、様々な困難に直面しています。

そのため、東ティモール政府から、友好関係を維持している我が国への強い要請に応じて、平成24年より東ティモール軍の災害対処能力向上を目的として、陸上自衛隊による同軍の車両維持・整備技術に関する人材育成を行っています。



装備品の整備の重要性について講義



整備実習



総合実習



車両の構造・機能に関する説明



野外整備教育



記念撮影

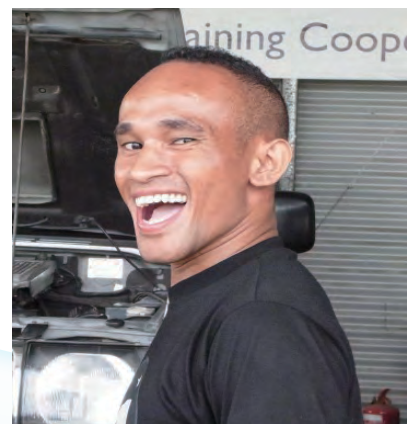
教育を受けた東ティモール軍隊員からの声

私は、軍人となることで東ティモールの独立を守り、社会の発展に貢献したいと思い、平成21年に国軍に入隊しました。

整備中隊に配属されてから、先輩たちからタイヤ交換やオイル交換について教わりました。平成24年12月から防衛省による車両整備教育が始まり、第I期、第II期と教育に参加できたことは、とても幸せです。車両整備について体系的に学習する機会は、この国ではほとんどありません。特に第II期の後半は、自衛官による教育が始まり、新しい経験の連続でした。作業をする時は必ず声をかけ合ったり、休憩に入るたびに清掃をしたり。時間厳守や連絡の徹底はなかなか覚えませんが、こうした積み重ねが、チームワークや安全管理につながることを学びました。最後に教官が見せてくれた野外整備では、作業の早さに驚きました。私も一生懸命勉強し、いつか駐屯地に放置されている皆さんの不可動車を修理できるようになりたいです。

私は、自衛官の教育が好きです。教官は私たち一人一人の様子をよく見ていて、難しいところは繰り返し教えてくれます。休憩時間などでは、お互いテトゥン語と日本語を教え合い、毎日少しずつ会話ができるようになりました。

いつの日か、教官が勤務する自衛隊の整備場を見たいです。そして、今は何も持たない東ティモール軍が将来自分たちで自動車整備ができるように、これからも努力していきます。



後方支援隊 整備中隊 兵
アブラオン・デ・イエズス・メンデス



カンボジアに対するPKO分野での支援

PKO分野の能力向上に資する道路構築等の分野に関する人材育成

我が国が約25年前に最初に国連PKO活動に部隊を派遣した国がカンボジアです。日本はカンボジアからの要請を受け、平成24年度から陸上自衛隊によるPKO分野における道路構築等の教育・訓練を同国のPKOトレーニング施設であるNPMEC(注)にて実施しています。カンボジアは、かつてPKOの受け入れ国でしたが、今ではさまざまな国からの支援により、PKO部隊に派遣する立場の国となり、国連PKO活動の現場で活躍しています。

NPMEC(注):カンボジア国立国連平和維持・地雷処理爆発性戦争残存物処理センター



実習で整備した道路(約200メートル)と記念碑の前で記念撮影する陸上自衛官16名とカンボジア軍研修生18名



優秀者を招へいし、
教官育成のため、
日本においても研修を実施

教育を受けた隊員が
国連PKOミッションの
現場で活躍

実際の派遣を
想定した実習

レバノン派遣を想定した
排水設備等に関する教育

道路施工監督要員育成の
ための実習

砂利道構築を教材とした施工計画作成、
施工管理等に関する教育

道路施工全般に関する
基礎的教育

測量、土質、重機、作業見積等に関する基礎教育

事前の現地調査
ニーズを確認



自衛官による講義の様子



教育を受けたカンボジア軍隊員からの声

私は現在、カンボジア軍のPKOトレーニング・センターで指導にあたっています。

平成24年に防衛省が実施した道路構築等に関する能力構築支援事業に参加しました。この時学んだ「施工管理」の知識がレバノンの国連PKOの現場で活用できました。具体的には、坂道の多い現地の地形に教育内容が役に立ちました。

カンボジア軍PKO学校の工兵教官として勤務している現在においても、陸上自衛隊から学んだノウハウに基づき、PKO派遣前の部隊に対する教育を実施しています。引き続き能力構築支援事業で学んだことをこれからの任務に活かしていきたいと思います。



NPMEC所属 工兵教官
ティアウ・チャルレット中佐(24年度事業参加)



ベトナムに対する潜水医学分野での能力構築支援

潜水医学とは

潜水医学とは、潜水（ダイビング）をした際に生じる身体への影響を分析し、その対策を講じる学問です。防衛分野においては、海難救助や機雷処理、港湾調査などの作業のために潜水作業をしている時にかかる可能性のある潜水病に対する処置の方法を学びます。

海洋安全保障への関心が高まっているベトナムでは、軍においても、同分野における医学の一つである潜水医学の発展が課題となっています。このため、ベトナム側の要請を受け、我が国は平成24年度から潜水医学に関する能力構築支援を実施してきました。

ベトナムに対しては、潜水医学の概要や、教育システム、潜水病に関する症例を、我が国の経験と併せて紹介したり、ベトナム軍関係者を我が国に招き、海上自衛隊の施設を見学するなどしています。

また、平成25年と平成27年のセミナーにおいては、米豪両国からも専門家の参加を得て、3ヶ国共同でのセミナーを実現し、潜水医学分野での知見や教訓を共有するなどの教育等の講義を実施しました。



日本側から潜水医学の概要、症例検討等について講義を実施



米国側から米国における潜水に関わる医療関係の教育システムについて講義を実施



豪州側から豪州における潜水医学に係る取組について講義を実施



ベトナム海軍学院にて高圧タンク室を見学



日越米豪からのセミナー参加者による集合写真

セミナーを受けたベトナム軍隊員からの声

ベトナム海軍副司令官 タイン少将(当時)の言葉
(平成24年度 第1回潜水医学セミナー参加)

本日、日本からの能力構築支援事業を受けることができて大変嬉しく思います。今回の海軍医学分野での交流を通じ、日ベトナム海軍関係の一層の進展を期待しています。潜水医学は、ベトナム海軍にとっては新しい分野であり、高い関心を持っています。日本は、様々な分野の医学が発展していると承知しています。ベトナムは、長期の戦争を通じ、火傷の治療、損傷した内臓機能の修復等の一部の軍事医学分野については発展しましたが、今後は新しい分野の医学の発展が必要です。本分野は、ベトナム海軍はまだスタートの段階であり、日本の医療技術には大変興味を持っています。

ベトナム海軍司令部 ドアン・フイトン上級大佐(当時)の言葉
(平成26年度 第4回潜水医学セミナー参加)

本セミナーを通じて自衛隊、米・豪軍との友好関係も促進されてきていると認識しています。

今回4回目のセミナーということですが、我が国の潜水医学についてはまだ経験及びインフラが不十分であると認識しています。今回のセミナーには各国から参加して頂き、大変有意義なものとなりました。ベトナム海軍司令部を代表して、感謝を申し上げます。



フィリピンに対する人道支援・災害救援分野での支援

人道支援・災害救援に必要な航空輸送分野に関する研修

日本と同様の群島国家であるフィリピンでは、台風や洪水などの自然災害が頻発し、災害時には、広範な離島地域を含む国土全体に対する早急な対応が必要です。このためフィリピンでは、軍を中心として、発災直後の速やかな災害時の救援物資の運搬など、災害対処能力の向上が課題となっています。様々な自然災害に対応してきた自衛隊は、豊かな経験と高い能力を活かし、例えば平成25年のフィリピン台風時には過去最大規模の自衛隊を派遣し、災害救援を行いました。



能力構築支援についても、平成25年6月の日比防衛相会談において、人道支援・災害救援分野に関する協力が合意され、平成27年2月にはフィリピン空軍要員を我が国（習志野駐屯地及び小牧基地）に招き、災害対処時の物資の航空輸送について研修を行いました。今後もフィリピンへの能力構築支援を実施していく予定です。



支援物資等の梱包作業の展示
(陸上自衛隊習志野駐屯地)



航空輸送の方法に関する説明
(航空自衛隊小牧基地)



輸送機(C-130)による支援物資等の
投下に関する説明(航空自衛隊小牧
基地)



第1空挺支援隊と研修参加者
(陸上自衛隊習志野駐屯地)

教育を受けたフィリピン軍訪問団からの声

フィリピン空軍参謀本部A-5 アウグスト・ヴァンゾンズ・ゲイト空軍大佐 (Colonel Augusto Vinzons Gaité) (当時)

能力構築支援事業として、フィリピン軍が日本を訪問するのは初めてであり、非常に新しい試みです。今回の訪問では、災害時に輸送機から支援物資を投下する際の技術や手順を学び、帰国後それをフィリピン空軍に広めていきたいと思っています。今回の訪問をきっかけとして、日比の関係をより強化・発展させ、将来的にも継続させていきたいと考えています。

フィリピン空軍司令官からの声



ジェフリー・F・デルガド中将(当時)
(Lt.Gen Jeffery F. Delgado)

フィリピン空軍としては、航空自衛隊との関係を強化していきたいと考えています。

フィリピンと日本との間では地域の繁栄と安定に係る相互理解があり、伝統的・非伝統的安全保障分野における共通の関心事項があります。

我々は、航空自衛隊を地域における頼れる兄貴分 (strong brother) としており、さらに相互の関係を強化していきたいと考えています。

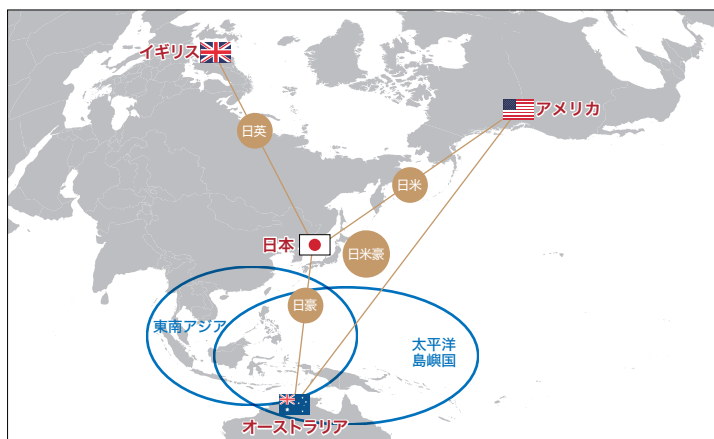
この機会を活かして航空自衛隊から学び、航空自衛隊側もフィリピン空軍から何かを学んでいただければ幸いです。

他の支援国との能力構築支援に関する協力

地域全体の安全保障環境の安定化を図る上で他の支援国との協力は不可欠です。
特に米・豪・英との協力は政策レベル・事業レベルでも進展しています。

日米

平成27年4月27日の日米「2+2」共同発表において、地域の平和・安定・繁栄のため、能力構築支援を含めた両国の協力の継続的かつ緊密な連携強化を明記し、同月の日米首脳会談および同年11月の日米防衛相会談においてもこれを確認しました。



日豪

平成27年11月22日の日豪「2+2」共同声明において、東南アジア及び太平洋島嶼国における能力構築支援の協力強化を明記しています。

[人材交流]

平成24年9月の日豪防衛相会談での日豪防衛当局間の人材交流の合意に基づき、以来、防衛省と豪国防省の間で計3人の職員が相互に配置されており、能力構築支援に関して、お互いの知見やノウハウを共有し、日豪間の協力を促進しています。

日米豪

平成27年5月30日の日米豪防衛相会談において、海洋安全保障分野における能力構築支援に関する継続的な3ヶ国協力を進めることで合意しました。

例として、以下の日米豪協力が行われています。

豪軍主催「HARII HAMUTUK」(東ティモール)(平成27年10月～11月)

1. 事業内容: 豪軍主催の東ティモール軍工兵部隊に対する能力構築支援事業「HARII HAMUTUK」に米軍と共に参加し、施設建設などの技術指導を実施。
2. 支援対象: 東ティモール軍後方支援隊

第4回潜水医学セミナー(ベトナム)(平成27年3月)

1. 事業内容: 米豪両国の専門家である講師の当セミナーへの参加を得て、ベトナム軍に対して共同でセミナーを開催。潜水医学分野での知見や教訓を共有する教育等を実施。
2. 支援対象: ベトナム軍医官及び潜水士



日米豪防衛相会談での合意



各国軍との連携による鉄骨の組み立て作業の様子



日越米豪主要参加者の集合写真

日英

平成28年1月の日英外務防衛閣僚会合及び防衛相会談において、特に海洋安全保障、海洋安全、海洋保全及びサイバーセキュリティにおける、東南アジア諸国の能力構築のための更なる連携を追求する旨を合意しました。

例として、以下の協力が行われています。

日英人道支援・災害救援セミナー(フィリピン)(平成28年1月)

1. 事業内容: 日英で人道支援・災害救援に関するASEAN諸国向けセミナーをフィリピンで共催。防衛省からは、国際緊急援助活動の取り組み実績及び人道支援・災害救援分野の能力構築支援を講義。
2. 支援対象: ASEAN各国軍・文民機関等



日英人道支援・災害救援セミナー参加者

これまでの事業一覧



東ティモールに対する能力構築支援事業

人道支援・災害救援分野

〔派遣事業〕

- 1. 事業内容** 人道支援・災害救援分野の能力向上に資する装備品の維持・整備技術に関する人材育成(自動車整備士養成教育等)
- 2. 支援対象** 東ティモール軍後方支援隊
- 3. 事業期間** (1)平成24年12月～平成25年3月
(2)平成25年10月～平成26年3月
(3)平成26年6月(招へい事業)、平成26年9月～11月
(4)平成27年7月
(5)平成28年2月
- 4. 実施場所** 東ティモール軍メテナロ基地



司令部における意見交換

施設分野

〔派遣事業〕

- 1. 事業内容** 豪軍主催「HARII HAMUTUK」への参加(建設等の施設活動を通じた技術指導)
- 2. 支援対象** 東ティモール軍後方支援隊
- 3. 事業期間** 平成27年10月～11月
- 4. 実施場所** 東ティモール軍ヘラ海軍基地等



カンボジアに対する能力構築支援事業

施設分野

〔派遣事業〕

- 1. 事業内容** PKO分野の能力向上に資する道路構築等の施設分野に関する人材育成
- 2. 支援対象** 国家平和維持・地雷処理爆発性残存物除去センター(NPMEC)(カンボジアのPKOセンター)の訓練センター工兵要員
- 3. 事業期間** (1)平成25年1月～3月
(2)平成25年12月～平成26年3月
(3)平成26年9月～10月(招へい事業)、平成26年10月～11月
(4)平成27年11月
- 4. 実施場所** NPMEC(コンボンスプー州、ウドン郡)



道路の勾配の付け方について説明している様子



モンゴルに対する能力構築支援事業

衛生分野

〔現地セミナー〕

- 1. 事業内容** 自衛隊病院の役割、自衛隊中央病院の概要・移転事業、医官・看護官の人材育成、衛生学校における教育についてセミナーを実施
- 2. 支援対象** モンゴル軍衛生要員
- 3. 事業期間** (1)平成24年10月 (2)平成26年7月
- 4. 実施場所** モンゴル国ウランバートル市



モンゴル統合病院の施設、診断要領等を視察している様子

〔招へい事業〕

- 1. 事業内容** 陸上自衛隊関連施設等において大量傷病者訓練・開院前訓練等を視察
- 2. 研修期間** (1)平成25年11月 (2)平成27年3月
- 3. 被招へい者** (1)モンゴル軍衛生要員6名 (2)モンゴル軍衛生要員5名
- 4. 実施場所** 防衛省本省、自衛隊中央病院、陸上自衛隊衛生学校、自衛隊札幌病院



札幌病院長との意見交換



自衛隊札幌病院にて開院前訓練を視察

施設分野

〔派遣事業〕

- 1. 事業内容** 道路構築に関する基礎教育及び実習
- 2. 支援対象** モンゴル軍工兵要員
- 3. 実施期間** (1)平成26年6月～7月 (2)平成27年7月～9月
- 4. 実施場所** モンゴル国中央県(統合訓練センター)



自衛官が測量について説明している様子

〔招へい事業〕

- 1. 事業内容** 現地事業における優秀者を陸上自衛隊施設学校へ招へいし、基礎教育や実習を実施
- 2. 研修期間** (1)平成26年3月 (2)平成27年2月～3月 (3)平成28年2月
- 3. 被招へい者** (1)モンゴル軍工兵要員5名 (2)モンゴル軍工兵要員6名
(3)モンゴル軍工兵要員9名
- 4. 研修場所** 防衛省本省、陸上自衛隊施設学校等



縦・横断面図作成をサポートする様子



側溝掘りの要領を説明している様子



パプアニューギニアに対する能力構築支援事業

人道支援・災害救援分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 人道支援・災害救援分野に関するセミナーを実施
(豪軍が主催する人道支援・災害救援分野の演習「ロング・リーチ2014」への参加)
2. 実施期間 平成26年7月
3. 支援対象 パプアニューギニア軍要員約10名等
4. 実施場所 ポートモレスビー



東日本大震災における陸上自衛隊の役割について説明

軍楽分野

【招へい事業】

1. 実施内容 軍楽に関する研修を実施
2. 実施期間 平成27年6月～8月
3. 支援対象 パプアニューギニア軍軍楽隊要員2名
4. 実施場所 陸自中央音楽隊



楽器奏法や音楽理論について指導



ラオスに対する能力構築支援事業

人道支援・災害救援分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 人道支援・災害救援分野に関するセミナーを実施
2. 実施期間 平成28年2月
3. 支援対象 ラオス国防省及び国軍関係者約70名
4. 実施場所 ラオス国防省



東日本大震災における災害対処について、初動対処や自治体との連携について説明



セミナーでの質疑応答の様子



セミナー参加者との集合写真



ミャンマーに対する能力構築支援事業

潜水医学分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 潜水医学に関するセミナーを実施
2. 実施期間 (1)平成26年12月
(2)平成27年12月
3. 支援対象 ミャンマー海軍
4. 実施場所 ミャンマー・ヤンゴン(第二国軍病院)



潜水医学の概要等について説明している様子

【招へい事業】

1. 実施内容 潜水医学分野に関連する海上自衛隊関連部隊・施設等における研修
2. 実施期間 平成27年9月
3. 被招へい者 ミャンマー海軍海難救助要員2名、
陸軍医官要員2名
4. 研修場所 防衛省、海上自衛隊潜水医学実験隊、海上自衛隊横須賀病院等

航空気象分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 航空気象に関するセミナーを実施
2. 実施期間 平成27年1月
3. 支援対象 ミャンマー空軍
4. 実施場所 ミャンマー・メッティラー
(シャンテ空軍基地第1飛行訓練校)

【招へい事業】

1. 実施内容 航空気象分野に関連する航空自衛隊の部隊・施設等の研修
2. 実施期間 平成27年8月
3. 被招へい者 ミャンマー空軍等要員4名
4. 研修場所 防衛省、航空自衛隊府中基地、航空気象群、
中枢気象隊、航空自衛隊入間基地第2輸送航空隊、
入間気象隊、航空自衛隊熊谷基地第4術科学校



気象業務に関する研修の様子

人道支援・災害救援分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 人道支援・災害救援分野に関連するセミナーを実施
2. 実施期間 平成27年3月
3. 支援対象 ミャンマー陸軍
4. 実施場所 ミャンマー・ネービーダー
(国軍司令部)



陸上自衛隊の人道支援・災害救援に対する取組についてセミナーを実施

【招へい事業】

1. 実施内容 人道支援・災害救援分野に関連する陸上自衛隊関連部隊・施設等における研修を実施
2. 実施期間 平成27年10月
3. 被招へい者 ミャンマー国軍要員5名
4. 研修場所 防衛省、陸上自衛隊対特殊武器衛生隊、
陸上自衛隊東北方面総監部



陸上自衛隊の駐屯地において機材等の説明を実施



ベトナムに対する能力構築支援事業

飛行安全分野

【招へい事業】

1. 実施内容 飛行安全に関するセミナーを実施
2. 研修期間 平成26年3月
3. 被招へい者 ベトナム防空・空軍5名
4. 研修場所 防衛省本省、航空自衛隊入間基地、浜松基地



航空医学実験隊における研修の様子

【現地セミナー】

1. 実施内容 飛行安全に関するセミナーを実施
※平成27年度は、航空医学セミナーを併せて実施。
2. 実施期間 (1)平成25年9月
(2)平成26年11月
(3)平成27年11月
3. 支援対象 ベトナム防空・空軍
4. 実施場所 (1)及び(2)ベトナム・ハノイ(ベトナム防空・空軍司令部)
(3)ベトナム・ニャチャン(ベトナム空軍士官学校)



セミナー後の活発な意見交換

潜水医学分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 潜水医学に関するセミナーを実施
2. 実施期間 (1)平成24年10月
(2)平成25年5月(米豪参加)
(3)平成26年3月
(4)平成27年3月(米豪参加)
3. 支援対象 ベトナム海軍
4. 実施場所 (1)ベトナム・ハイフォン(ベトナム海軍司令部)
(2)(3)(4)ベトナム・ニャチャン(第87海軍病院)



潜水医学に関するセミナーの様子

【招へい事業】

1. 実施内容 潜水医学分野に関連する海上自衛隊関連部隊・施設等における研修
2. 実施期間 平成25年9月
3. 被招へい者 ベトナム海軍要員5名
4. 研修場所 海上幕僚監部衛生企画室、海上自衛隊潜水医学実験隊、自衛隊横須賀病院等



潜水医学に関する講義を受ける様子

PKO分野

【招へい事業】

1. 実施内容 ベトナム軍の国連PKO派遣に向けた自衛隊のPKOへの取組みの紹介等
2. 研修期間 平成25年3月
3. 被招へい者 ベトナム国防省・軍要員6名(国連PKO派遣業務に従事する実務者)
4. 研修場所 防衛省本省、陸上自衛隊中央即応集団司令部、中央即応連隊、国際活動協力隊、統合幕僚学校国際平和協力センター



自衛隊のPKOへの取組に関する研修の様子

【現地セミナー】

1. 実施内容 航空医学に関するセミナーを実施
2. 研修期間 平成27年11月(飛行安全セミナーとの同時開催)
3. 実施場所 ベトナム・ニャチャン(ベトナム空軍士官学校)



航空医療搬送等について講義を実施

国際航空法分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 国際航空法に関するセミナーを実施
2. 実施期間 平成27年2月
3. 支援対象 ベトナム防空・空軍
4. 実施場所 ベトナム・ハノイ(ベトナム防空・空軍司令部所在地)



法務業務や事故防止の取組等について紹介

人道支援・災害救援分野

【招へい事業】

1. 実施内容 人道支援・災害救援分野に関連する陸上自衛隊関連部隊・施設等における研修
2. 実施期間 平成26年2月
3. 被招へい者 ベトナム国防省要員3名
4. 研修場所 防衛省、陸上自衛隊東北方面総監部等



震災対処訓練(みちのくアラート)に関する研修の様子



インドネシアに対する能力構築支援事業

海洋安全保障分野(海洋学)

【現地セミナー】

1. 実施内容 安全保障分野の支援として、海洋学(気象海洋業務)の概要に関するセミナーを実施
2. 実施期間 (1)平成25年2月
(2)平成25年7月
3. 支援対象 インドネシア海軍海洋業務センター
4. 実施場所 インドネシア・ジャカルタ(海軍海洋業務センター)



海洋学・海図作成に関するセミナー・意見交換の様子



【招へい事業】

1. 実施内容 海洋安全保障分野の支援として海上自衛隊関連部隊・施設等における研修
2. 実施期間 平成26年2月
3. 被招へい者 インドネシア海軍要員5名
4. 研修場所 防衛省本省、海上自衛隊海洋業務群等

国際航空法分野

【現地セミナー】

1. 実施内容 国際航空法に関するセミナーを実施
2. 実施期間 平成27年2月
3. 支援対象 インドネシア国防省空軍法務関係者
4. 実施場所 インドネシア・ジャカルタ(インドネシア国防省)



国際航空法について講義を実施



フィリピンに対する能力構築支援事業

人道支援・災害救援分野

【招へい事業】

- 1. 実施内容** 人道支援・災害救援分野の能力向上に資する航空輸送(特に災害時での輸送機からの支援物資等の投下)に関する部隊訪問を実施
- 2. 研修期間** 平成27年2月
- 3. 被招へい者** フィリピン空軍要員4名(空軍参謀本部要員及び輸送機パイロット)
- 4. 研修場所** 防衛省本省
陸上自衛隊習志野駐屯地第1空挺旅団
航空自衛隊小牧基地第1輸送航空隊



支援物資等の梱包作業の展示
(第1空挺団)



航空輸送の方法に関する説明

国際航空法分野

【現地セミナー】

- 1. 実施内容** 国際航空法に関するセミナーを実施
- 2. 実施期間** 平成27年6月
- 3. 支援対象** フィリピン空軍法務関係者
- 4. 実施場所** フィリピン・マニラ(フィリピン空軍司令部)



国際航空法に関するセミナーの様子



マレーシアに対する能力構築支援事業

国際航空法分野

【現地セミナー】

- 1. 実施内容** 国際航空法に関するセミナーを実施
- 2. 実施期間** 平成27年6月
- 3. 支援対象** マレーシア空軍法務関係者
- 4. 実施場所** マレーシア・クアラルンプール(在マレーシア日本大使館)



航空自衛隊の取組や
法務業務に関するセミナーの様子



セミナー参加者との集合写真



ASEAN諸国に対する能力構築支援事業

人道支援・災害救援分野

【現地セミナー】

- 1. 実施内容** 日英共催人道支援・災害救援セミナーを実施
- 2. 実施期間** 平成28年1月
- 3. 支援対象** ASEAN各国軍・文民機関等、約40名
- 4. 実施場所** フィリピン・マニラ



セミナー参加者との集合写真



災害準備、災害対応について、日本のこれまでの経験の共有、
関係者間の調整、関係強化を目的としてセミナーを実施



※本冊子の記述・内容は平成28年2月現在のものです。

発行:防衛省防衛政策局国際政策課 〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1 Tel:03-3268-3111(代表) <http://www.mod.go.jp/>